The Japanese American News

大正十五年三月廿三日 【火曜日】 第九千四百七十九號

# 日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 236
ENTERED AS S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. A. NIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日米

## 印度の共産化
### 英人の恐怖

【一】

米國に於いて汎亞細亞會議の重要視されて居る事時に、有色民族區域に大殖民地を有する英國に於いては亞細亞、特に印度及び近傍諸小國の共産主義化が極度に憂慮されてゐる最近噂しく論ぜられてゐる倫敦デイリー・ニュース亞細亞特派ブチリップ嬢の所説及び前英國相スノーデン氏の所説は即ち是を最も明白に語る。

【二】

フチリップ嬢は勞農露國かアフガニスタン、カブール等を既に極度に共産化し、進んで印度に及ばうとして居る事は英國民に警告し、露國は幾多の民族の國民的希望を利用しつゝ共産化を行ひつゝあるのであつてウズベキスタン、ウルグリスタン及びトルコメンスタン等の新しい共産國は、地理的ではなくて人種的集團として樹立され益々擴張一軍は北方唐山より山東省軍せんとして居り若し此れがトさ對峙しつゝあつた國民第二軍キスタンにまで及べば印度の脅威は一層大きくならうと云ふて居る。

【三】

スノーデン氏の議論に、有色人種に對する反抗的氣勢の盛然になつた事は、歐州問題よりも更に重大な問題であり而して同問題の本質は人種的よりも寧ろ經濟的であるといふてゐるのであるが、何れも大殖民國の恐怖と憂慮を表明したものに他ならない。けれ共、彼等がたゞ憂慮と恐怖心を現すばかりで、白色人種國が、現在の殖民統治を改善しないならば、彼等の今感じつゝある脅威が日一日と實際化さるゝだけである。

【四】

今、大多數の有色人種は、人種から、人種的偏見を基調とする侮蔑と惨酷を受けてゐる上に政治的壓迫と經濟的壓迫とを受けてゐるので、何れも反抗心は、明白に分析すること出來ないけれ共、政治的壓迫に對する反抗は國民的運動となつて現れ、政治的、不公平な運動も所謂中に包括され、其他の諸國に於ける政治的、經濟的、社會的運動となつて現れたものである。

米國の對外政策及び國務長官ヒューズ氏の演説は、是れ米國以外の非公式聲明に依り解釋すべきものであるが、米國の參加説を否認す

【五】

白色人種が文明の有色人種間に於ても勞働階級にたいする壓迫に拍車するものは重荷のあること稱しつゝ、あらゆる有色人種、地域、甚だしく勞資の協調がなければ、彼等み奴隷、經濟組織に骨膜をもたらす自然富源を占有し、利益をあたへてゐないのは現在の狀態である。この現狀の改善を計らないならば、英國が如何に印度における勞農の活動を阻止せんとす印度の共産化を極る前に先づ印度人の經濟的解放を行はなければならない。

## 天津を反軍に委して
## 國民軍漸次北京へ退却す
### 僅に蘆台に少勢の兵を駐め奉軍の進攻を阻止

（天津）還至陣地の國民軍は天津を撤業して北京政府反對軍に委する底意を以て廿一日北京へ向け退却を開始し南北鐵線に對陣して居た國民軍は滿洲王張作霖及その味方たる山東省軍閥の壓迫に堪へ兼て漸次天津に撤退しつゝあり。國民軍は僅に京奉線道（北京、奉天間）沿線の蘆台に於いて奉天方面よりの進攻を阻止すべく少數の兵を殘留せしめて居る奉天軍は漢去政權同同帯に於いて國民軍を壓迫しつゝあつたのである。

## 續として鐵路
### 北京に撤退す
### 天津聯合軍の掌中に歸す

（北京）國民軍全部ペキンに向け天津撤退の報はその本部に來つゝあるが別軍は天津外兩界に着し同軍が他に拠もペキン線地を通過し路傍の人家を掠奪し持運動を試むるか不明であるが、租界衛兵は十曜厳戒した賈憲隊内部は同區域通過の敗殘兵を撃退し防禦を來さなかつたが別に重大な騒擾を來さなかつた天津市民は國民軍同市撤退電に依れば同市は既に張作霖聯合軍の掌中に歸した。

大沽に碇泊しつゝあつた山東、國務省高官は「聯盟は米國省艦隊の多くは奏皇島に向同地に於いてその積載軍隊を上陸

## 米大使の所見
### 歐洲を騒がす

（華府）米國駐英大使ホートン氏が大統領及び國務卿に打電せる歐州最近の狀況に關する所見は歐州諸國政界の驚愕を喚したが更に大統領の外交顧問官の意見に大統領の外交顧問官及び政府當局者は報告の海外分離を來し國務卿ケーログ氏及ほせる反響を顧る憂慮して

## 米國の參加説
### を否認す

（華府）米國外務省當局者は駐英大使ホートン氏の歐州諸國政界の驚愕を喚したが更に大統領の外交顧問官の意見に大統領の外交顧問官及び政府當局者は報告の海外分離を來し國務卿ケーログ氏及ほせる反響を顧る憂慮して

## ホートン聲明事件と
## 米國政府の辯明
### 米國の對外政策發表は非公式聲明を以てせぬ

（華府）米國外務省當局者は駐英大使ホートン氏の歐州諸國政界の驚愕を喚したが更に大統領の外交顧問官の意見に大統領の外交顧問官及び政府當局者は報告の海外分離を來し國務卿ケーログ氏及ほせる反響を顧る憂慮して

## 獨逸廢帝
## 瑞西轉住か
### 別荘購入交渉

（ゼネバ）目下ドルーンに代しい餘生を送つてゐる獨逸廢帝は若し聯合國側で和約過去を計せば山梨水明の瑞西に轉住すべく、ルガーより十五浬のフレゲンエノに大きな別荘を購入の交渉中である。

## 日本から
### 地方有志家
翁久允

【七】

いよ〳〵船は鶴和歌につくのやあろ。鶴は海とあつた。夜は、西方に暮が垂れた。四人は、名刺の交換をやり初めた。そして双の會合を誓ひ合つた。さ、湯滝君に似た大將は、私の名刺を見ながら、にこ〳〵ゆ出した。さうも、さつきから變だと思つてゐたが、何處の何者かと思つてゐた。

ゆ、なるほど兩變人と何關係があるのかも知れませんね。

△

見ると、なるほど兩變人と何わかりました。あゝ云はれて何處の何者かと思つてゐた。

さうりでさつきからの話しもわかりました。あゝ云はれて

△

大阪へは、一ヶ月に數回出まして、汗臭の至りです。さんだが田邊町を一人で背負ひ立つやうな日曜である。あらためて、殘つた酒が私の一杯につがれた。そして愉快に笑つて、私は新聞記者が好きです、現に私の友達や知己が大朝、新報に、大毎、新報にも滞山ゐます。誰彼も知つてゐます何某は友人です。

△

大阪へは、一ヶ月に數回出まして、汗臭の至りです。さんだが田邊町を一人で背負ひ立つやうな日曜である。あらためて、殘つた酒が私の一杯につがれた。そして愉快に笑つて、私は新聞記者が好きです、現に私の友達や知己が大朝、新報に、大毎、新報にも滞山ゐます。誰彼も知つてゐます何某は友人です。

△

そのジミな人を言ふのは、船場で別れた二人の紳士で、一人は文學士で素封家、一人は醫學士で有力家であつた。この二人の學士達は、さつちかまゝ言ふと親からの財産をそのまゝ手堅く行かふとする爲の人に新人にさつては物足らぬのである。彼は地方の爲めには濱路を改築したり、いろんな

つ張り込んでボーイに、ビールと酒をオーダーする。大きな口をあけてサラダを頬張りながら天下國家論が初まるのである。このやうにして氣焔萬丈の二人を乗せた電鐵は夜の紅灯を明るい大阪へ飛んだ

△

大阪へは、一ヶ月に數回出まして、汗臭の至りです。さんだが田邊町を一人で背負ひ立つやうな日曜である。あらためて、殘つた酒が私の一杯につがれた。そして愉快に笑つて、私は新聞記者が好きです、現に私の友達や知己が大朝、新報に、大毎、新報にも滞山ゐます。誰彼も知つてゐます何某は友人です。

△

大阪へは、一ヶ月に數回出まして、汗臭の至りです。さんだが田邊町を一人で背負ひ立つやうな日曜である。あらためて、殘つた酒が私の一杯につがれた。そして愉快に笑つて、私は新聞記者が好きです、現に私の友達や知己が大朝、新報に、大毎、新報にも滞山ゐます。誰彼も知つてゐます何某は友人です。

△

俄し、私が、先祖代々田邊町に住んで、今はそのつまらない仕事をしてゐるものだけれ

# 太田復興局土木部長 胸を貫いて自殺

## 復興局疑獄事件を恥じて 家族は自殺の原因を否定

本社東京特電廿二日午前十時着

東京復興局土木部長太田圓三氏は、昨夜東京の自邸において短刀をもつて我と我が心臓につきたて覺悟の自殺を遂げた。京年四十五歳、氏の家族は自殺の原因は不正事件に何等の關係なしと主張してゐるが、一般人士は氏が既に無數の高位高官達の捕縛の原因となつた復興局不正事件に關してこれを恥辱としてこの悲劇を演じたものと信じてゐる。

# 朴烈の宣告は二十五日 獄中で筆取る文子

## 大逆事件の日鮮人夫婦に對する大審院の最終判決

大逆事件の中心人物鮮人朴烈および妻金子文子に係る大審院宣告は來たる二十五日下るはずである。最後の判決を眼前に控へた文子は從容としてその實驗を執筆中である。

# 海軍で新造の飛行機海中に墜つ

## 横濱で試運轉中將校四名 機關士一名大學生皆慘死

最近横須賀海軍工廠にて完成した全金屬製海軍飛行機今日横濱において試驗飛行中海中に墜落し、將校四名、機關士一名および大學生一名慘死を遂げた。

# 米國の現在人口は 一億一千五百萬

## 昨年度の移民增加は僅に二十六万二千名だけ 産兒數は十年前と同樣

米國統計局人口調査部のキング博士は去る一月三十一日発表の一年間における米國人口狀態に關する精細なる調査を遂げその結果を統計的に發表した。之れによれば同年度增加數は百六萬人口が十年前即ち千九百十六年度に比して一千萬人以上も激增したに拘らず、産兒の數は殆ど同數であつて增加傾向を示さざる事である。これは國民間の虛弱の結果と觀察される。殉死亡率は十六年前よりも低率であると。

人口狀態調査の結果現れた注意すべき點は、同年度國籍別增加數は僅に二十六萬二千名にて今年人口增加數の六分の一にしか當らない。昨年度

# 一條公爵夫妻招待の茶話會

## 赤坂の廣大な邸宅で

本社東京特電　廿二日午前一時着

滞京中の日米紳第二回見學團は各方面より盛んな歓迎を受け種々な便宜を得て愉快に各方面に亘つて見學中であるが廿一日の日曜日は貴族院議員公爵一條實孝氏夫妻の招待を受けて赤坂の福吉町にある廣大な邸宅に於けるチー・パーテーに臨んだ。こゝでも日本高貴の家庭を遺憾なく見學した。

（註）一條實孝公は侯爵大炊御門輝麿氏甥に當り令夫人經子の方は一條實輝公の二女に當られ、安藤子夫人とは學習院の同窓のお友達である。實輝公は人も知る如く舊公卿で、有名な「七觴落」の一觴で勤王家である

# 彼岸の中日で……本願寺に參詣す

廿一日は日曜日であり時恰も彼岸の中日にあたつてゐるので一同は築地の本願寺に參詣したがこゝでも茶菓の饗應あり大歓迎種々の便宜を受けた。

# 桑港紐育間無着陸定期飛行

## 茲一年間に出來上る

旅客百名を載せ一晝夜で飛ぶ

桑港紐育間に無着陸の定期飛行が出來ることゝなつたのであり又旅客室は「ブルマン」旅客車の如く設備するといふが、シカゴ其他の都市を經由して「ニューヨーク」に到着するまでは飛行機及び飛行船の發明に於いて發表した所であるが氏の話の所によると、

右定期飛行に使用される飛航船は旅客百人を載せる大型で五人の操縦士によつて操縦され紐育と桑港の間を二十四時間乃至三十時間で飛ぶことが出來ることゝなれば旅客の料金は一晝夜間の計畫について研究した結果、今回漸くその實行の緒についたのであるといふが愈々實行する時は

# 家庭欄

## 負擔が大きい 日本の女子教育〔一〕

### 寄宿生活の費用調

子女を故國に殖し又は將來故國に遊つて勉强させんとする在米同胞父兄のために學費が如何ばかりかゝるか左に紹介して見やう。

女子專門學校の入學期も迫つて來た女子教育熱の高潮と共に入學難は一年毎に高だしなつて來たが已れこそは三寶氣入みすまじく目藤やお茶の水、女子醫專等へ突進する人が昨年は入學敢容者の十倍もあつたが、女子の高等教育となるといづれも年々相當多いから、都鄙しさの虚榮に隙は長いうへに、學生の負擔も高の評判が高いのと人氣女優だけ志願することは危險なこと、このうへもない、それに學費は節約しても四十圓、五十圓とかゝる外に着物等は親から仕送りをせねばならないから今では苦學してゐる人はほとんど絶無といつてもいゝくらだから親の虚榮に考へ物である、最近女子の各專門學校では地方の人は全部寄宿舍に入舍してゐるが、こゝ憂慮とし知られてゐたが、最近では卒業後二ケ年の義務年限が和製「ニシ〇」に主演して、くるだけ月謝免除の特典があるさりがまを使つてかゝるが、ことは他とは異つてゐるが、ら確實に天下に猛優の第一線に各震災後バラック建の四十疊飛びありその聲名をうたはれ十二人つゝ寄宿舍に生徒監に至り、河部五郎は昨年日活三名、舍監三名のもとに伸よく勉强してゐるが學費は賄料十五圓、舍費一圓（娯樂費）等茶話費（旅行積立て金三圓）茶話費は各生が同じやうに課せられて居るが、理科、家事科によつて書籍代の十圓は大同小異で官費が違つてゐるが、それも、三四圓程度であるがタバコ全部が同じやうに課せられて居るが、理科、家事科によつて書籍代の十圓は大同小異で官費が違つてゐるが、それらも

ロスアンゼルス（廿一日）

# 羅府軍大勝し 大銀杯を受く

## 羅府對エルセントロ 第一回、十七對十五 第二回、十五對〇

廿一日の日曜にエルセントロ日米は羅府に出かけて本人野球團對羅府日本野球團の二回戰は當地ホワイト、サックス野球場において行はれたが第一回戰は十五對〇で羅府軍の大勝に終し羅府日米新聞提供の大銀杯は遂に羅府軍の手に落た。

事件の眞相

## 三人一處に 東白石佐藤語る

既報昨十二時五分から井分までの間にそれ〴〵郡監獄にジョンス、ミーラー、アクト即ち禁輸酒密賣者として收容された東、佐藤、白石の三人の後の模樣について記者は今朝郡監獄に三人を訪へば收監されて以來直に木村、中村（高）兩氏、東の妻子、白石の妻子もまた獄をたづねたよし三人が一當に出て事件の眞相について語る處によればこの事件は記念品として鍍銀製カフスを贈られ海本副領事より感謝の書を受けたことは既に報ずる通りだが、この贈物について問題となる者は謝辞について問題となる者は謝辞について問題となる者は謝辞

## フレスノ (廿一日)

# 和やかな春日を浴びて 學生會の山あうび

### 赤い白い野の花つみ 渓流を掬んでお辨當

布市學生會の男女三十餘名がきのふの朝五藤の自動車にのり行くみち〳〵一先に走つてゐる自動車の人たちが面白いことをしながら後の人々を笑はせながら九時すぎに

▲スコー、バレー　についた、バレーといつても青々とした木の茂つた山中である、一行が一目を過ごさんと落ついた所はサラ〳〵と清水の流れる小川の向かふに次のお山が眺められる岸であつた、近くに一つ橋がかゝつてゐるなぞは油繪のやう、一息つく間もなく三々五々川を渡つて島袋西藏、比嘉長助、人フォードでお山にのぼり始めた、ケー會長さんチーさん私の三人は岸にポツポツ生えてゐる草の中に腰かけて　いてゐるとき向こうから一番さきに頂上に登つた人の姿が白く見へたとき、アレは白いシヤツを着てゐたワイさんよ、赤いのが見へるもさ赤いコートを着た、ケー子さんだ

▲グリーン色ださ　その色のドレスを着たワイ子さんダツていひ合ふ、殘つた三人が山を見ながらそんな品さだめをしてゐるうちにやがて白いのや赤いのやお花をもつて降りて來た、十二時ごろお辨當をおいしくいたべた餘々で遊ぶアイさんが木の枝に腰かけて　いてゐるとユーカレンをひ　誰かがアイはあゝして兩國氣分を味はつてゐるんだよゝいふとお月夜だつたらもつとローマンチツクだわね！なんてつけ足す一同で鬼ごつこや遊びベース、ボールをするエチ夫人を先登に一グループが　花摘にお山に　のぼつて行くハーモニカが木間をもれる、四時すぎみんなハツピーに歸途に　つくこのミシンも桃色や紅やの白いのや山のお花に飾られて！

（チー、ケー）

## 學園協會理事會

中加學園協會理事會は昨夜本部に開催、練習問題その他につき意見の交換あり決議事項は次の通り

一、副島八郎氏メキシコ移住につき本會より餞別を贈ることに決議

二、中加四個の本人より寄附ありたる旨報告

三、加四個の本人より寄附ありたる五十弗に對し感謝狀を送ること

## フアラー便り

◇寄附　好成績　青年會の野球場新調に要する寄附成績は二晩の勸誘で二百餘弗に達しなほ兩三夜續行のよし

▲ベビー葬儀　蓮花貴一氏の女はぎ子（五ケ月）昨日死亡本日午後白人長老教會でリマー、福島牧師司式の葬儀あり友人宗岡、明石、學園白川時夫、青年會藤原靜夫、友人森長作各代表諸氏の弔詞、親戚代表小田貞彦氏の挨拶にて式をさゞやかフアラー墓地に埋葬後學園に會葬者を慰問した日本人多數で盛會だつたと

## 日會種痘勵行

サリナス日本人會に於いては例年のごとく種痘を勵行することになつた殊に本年は南加各地方に天然痘の流行に鑑み今までのやうに單に小供のみにあらずして大人にも種痘をなすことを勸誘する筈なれば例年の如く安價になす筈である來る二十六日より記の日割地に出張する筈なり

▲二十六日午後三時半より四時まで　▲同日午後四時より五時まで　▲二十七日午後三時より四時　▲二十九日午後三時より四時　▲三十日午後三時より五時まで　▲三十一日午後三時より五時までサリナス日本人會

## サリナス (廿一日)

## 十二回の激戰で 亞軍は一點の負

### オークランド (廿二日)

### 布軍を迎へて

●損害請求　さきに自動車にて損害請求かの件は既に全快退院した森重氏は同君の無謀士に加害者人に對し近く損害請求訴訟を起すだらうと。

●腦側に落度なし　沖縄縣人ドモガン白人人同乗のウ衝突し人のうちのアレキス、シユマックが即死した椿事は前報の通りだが重傷を負ふて收容病院にある運轉手のニコリアンが輕傷の口逃によると彼は二十五哩の速力でロングサイドを疾走してゐたと其非を自認してゐるので島袋、比嘉兩人は何の責任もないことが明白した兩人とも昨夜九時ごろ衝突した椿事は前報の通り

●野球遊會準備委員　サリナス日本人會に於いては來る四月十一日野球遊會を開催する筈なり場所は昨年ブランコ野球遊會のあり場所で十八九定まるであらうさて昨夜準備委員としの日合

●報の通り去る二十一日亞市體育會野球軍はその野球場に布市軍を迎へて第三回の親善戰を試みたが何分亞體が前二回戰ともに惜敗したので今度こそは選手連は勿論ファン連も必ず勝つの心かけ全く過ぎ大人場者つのかけ全く大快戰を見せるこゝだらうといふ

ふのや天氣は近ごろになき晴れ暑からず寒からず野球見物に御あつらひ向きさ爽てゐるため場の演說を試みたが同會では近定期的に市の人物を招待して國際親善に資する催しの計畫もあるよし

●火災損害計量終了　神川商會の火災損害計量はやうやく昨日完結し保險會社員は歸桑したが輕傷をおふたのみで大河原護士に車體損害賠償交渉を依頼する因に御死した シユマックは温順に二十七歳くらひな獨逸人でリバーホテルに止宿してお當夜ジヨイライドに嫌かるの癖を無理にひつぱり出されたのだとは不運の男だ

●市民協會　昨夜佛教會で例會あり阪本節吾氏招待をうけて一定刻前から大場者つのかけ全く空席なき大盛觀を呈したがいよ第一回に亞軍が油斷して布軍に五點を取られたからファン連は熱狂し始めた、幸亞軍も二點を得たから小康を得それから八回目には布軍が二點を入れて九點さなつたので亞軍が六點しかないので大いに氣をませたが九回目には亞軍が三點を入れて九點の接戰さなつたから兩ファンが總立さなつたが勝敗は

△亞軍

| | | |

## サクラメント（廿二日）

# 須櫻野球戦で櫻軍勝利す

### 九對四の差で大和敗らる

加州同盟野球聯盟の須市大和と櫻府スターの初回試合は昨廿一日アラメダの代表者は布哇兩軍の試合ありしため不參加なりしも昨廿一日の午後二時よりヨロッパ野球場において催された此日風かゝ國府、柴、服部三氏選ばれやゝ強かりしかど天氣晴朗、觀廿二日アラメダに出張しさらに衆觀同盟の布櫻戰の時より等しく三アラメダの代表者と懇談をかさなる大和は主田を投手として伊藤を捕手として先攻に出づスターは松田を投手とし石井を捕手としてこれに應ず

第一回及び第二回兩軍驚、第三回戰において須市の無驚をうけて櫻軍攻撃に出で松田一塁に走り演武の三振り巧に一塁を盗み柴はよく村上敵の失に乗じ各塁を占め松田惡所において奮耕作者、輪送者、暗送者を本塁に順送りし同野の安打及仲實客の相談台が備される右さらに一點を櫻軍に加へしむは過日州農事局から發表された第四回戰兩軍無驚、第五回戰無驚、第六回戰須軍驚、第七回戰兩軍無驚、第八回戰須軍驚、第九回戰須軍驚、須軍驚ふはやその裏において櫻軍走者塁上にあり村上の安打一點々納む第六回戰において須市二死後三力谷外野にやう、撃法規の内容を說明了案打したるのち續く臼井三塁解せしむる目的であるとのことを越しかゝ飛ばし二走者を本塁組合員の野尻、農產からの氣揚がり無駄に張すべしといふ一般の裏において一點を得て第七回兩軍無驚、第八

The Japanese American News
THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN
K. ABIKO, PUBLISHER AND EDITOR
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
ONE YEAR — $11.00 SIX MONTHS — $5.50
ONE MONTH — $1.00 SINGLE COPY — 5 CENTS

## ROUND THE WORLD

### France

Militarism is a bacillus that may infect any "body politic" with its vicious virus. Our own country has been infected more than once. The most recent example of the ravages that may be wrought by this bug of militarism is of course Prussia, barely thwarted in an avowed undertaking to "bleed France white." But France herself may also be infected, as the Napoleonic era proved. She has in fact shown certain symptoms of infection since the Great War. In fairness, however, it ought to be remembered that in the case of the Riffs, at least, France has only been trying to hold what she already had. The Riffs tried to loosen her hold on Syria, and France resisted. This is not justifying her position in Syria. It is merely pointing out that in resisting the Riffs she was doing no more than the United States would be doing in defending the Philippines from outside attack.

They do some things better in France than here. Take, for example, the Parisian control of that modern Juggernaut car, the "auto." Before you may drive your "flivver" or Mercedes down the Champs d'Elysees you have got to be coached by a French official who sits in the tonneau beside you and subjects you to every possible test of skill and nerve. In the most crowded streets, at that! Suddenly he will say ,"Stop!" or,"Park your car there!" or, "Cut in in front of the car ahead!"—all in French—and unless you perform to his complete satisfaction, you get no license. As a consequence, the mortality rate from motor accidents in France is only a fraction of that in the United States.

## KENGAKU-DAN DIARY

**Mystery! Mystery! Mystery!**
**Writes Maki Utsumi:**

After quite a sleepless night due to the new environment, I woke up about half-past six, dressed, and walked out on the deck. It was still quite dark, but I noted that the water was a very deep blue, and as the day grew lighter it appeared beautiful and pure.

For a couple of hours no one else came on deck except the shipmen. I thought this quite queer, for I was told that breakfast was to be at half-past eight, and here it was eight already and hardly anyone was up. Could everybody be sea sick from such a dainty little rocking as this?

**The Mystery Thickens:**

Eight-thirty came—and passed. Still no breakfast bell, although more people were walking around. By this time I was hungry—hungry! Icould have eaten everything given to me. Yet no breakfast bell. What was the matter? Then—oh, I found out that something had happened overnight, and we had lost half an hour. May be it ran back to California. Will finder please send it back to the Kengaku-Dan?

**Wonderful First-Class Cabin!**
**Writes Flora Yaeko Tsuda:**

After all, the sea is not so cruel. (I might be thinking differently if I had been seasick yesterday). The ever changing sea, with its waves dashing against the boat, is really indescribable. It signifies strength and beauty to me.

This first class life on a boat is wonderful. Sometimes I think it is too good for us. It might makes us too lazy, but I am sure we know when to "put on the brakes," as we say, and get right down to business.

## Glee Leader

(By Courtesy of the Fresno Bee)

Hugo Okonogi

## JAPANESE STUDENT LEADS ROAD SHOW

**Okonogi's Gleemen Sing Before Capacity Audience**

Under the direction of Hugo Okonogi, student manager, the Fresno State College men's glee club presented a road show in the college auditorium last Thursday night, March 18, and the packed house showed keen appreciation of the work of the gleemen, following the final numbers with generous applause.

Hugo Okonogi, son of a prominent Japanese physician of Fresno rendered several selections; and he was the center of interest, as he was the only Japanese in the organization, besides being its manager.

**Okonogi Says**
**Players Optimistic:**

We quote the following from the Fresno Republican:

"This is the best showing that the glee club has ever made, Okanogi says, and the players are more optimistic than ever in the success of their mixed program of jazz and classical numbers. Chief on the program were John Wiene and Gordon Backlund, vocal soloists; the Collegiate quartet in variety numbers; the irresponsible, a group of talented fun-makers, in different acts; readings by individual members, and violin numbers by Harvey Whistler and Cyril White.

"Hugo Okonogi was the manager of the road show, with Charles Andrews as his assistant. Howard Lane was in charge of publicity. Returns will be transferred to the treasury of the Fresno State College association."

## KENGAKU-DAN WELCOMED BY PRINCE ICHIJO

Special to The Japanese American News

Tokyo, March 21—The Nichi-Bei Kengaku-Dan members were invited to the home of Prince Sanetaka Ichijo at Akasaka in Tokyo for tea party held in their honor to-day. The Kengaku-Dan was taken through the prince's famous garden. Special interest is attached to this tea reception because of the fact that princess Tsuneko Ichijo was a classmate of Mrs. Abiko, leader of the party, while attending the Peeress School in Tokyo. The father of the prince was Emperor Meiji's favorite courtier.

Later in the day the Nichi-Bei party visited the Hongwanji temple and participated in the "Higan" Festival.

## Mountain View Party

A St. Patrick's Day party was held at Mt. View Japanese Language School, March 20, under the auspices of the young people of Mt. View M. E. Church.

About fifty young people, representing Stanford, Palo Alto, Mt. View, and San Jose attended the party and a "jolly good time" and eats were enjoyed.

## LIN' O' TYPE OR TWO

**BUDDHA IN MEXICO:**

A stone figure of Buddha has just been found buried in Tizapan, Mexico, according to the press. Scientists are said to attach great importance to this discovery, as the statue is exactly like those found in China. This new find is expected by some anthropologists to prove a connection between the early civilization of Mexico and that of the Orient.

From the further fact that several Chinese characters have been deciphered in Mexico and several words of the Mexican Language ("Waraji," for instance, meaning "straw sandals") are identical with Japanese words, some scientists believe that a connection must have existed between Mexico and the Orient. The Mexican people have sentimental attachment to the Japanese in particular because they believe that they have descended, in some remote period, from the same stock as the race. This partly explains the popularity of Japanese in Mexico.

**JAPANESE AIRCRAFT WITH 16 WINGS:**

Lieutenant Commander Matsunaga of the Japanese navy has invented a new type of airplane which is guaranteed against crashing to the ground. It has sixteen wings (eight long ones and eight short ones), and the plane is able to come to a stop without gliding forward. The wings are attached to a rotating pole beside the helicopter. It requires only a small landing space.

The time will come when airplanes will be just as safe as automobiles. Such an invention as that of Commander Matsunaga is invaluable in giving impetus to commercial aviation.

**WORLD BIGGEST BOMBING AIRCRAFT:**

Naval and military authorities are coming more and more to attach significance to the air. The U. S. is building a superdreadnaught of the air, the largest of its kind in the world, at the Huff-Daland Airplane Company, in Bristol, Pennsylvania. It is rumored that this superbomber, to be named the "Cyclops" will be a veritable terror, capable of carrying a load of four-and-a-half tons of bombs while flying at the speed of 135 miles an hour. Six rapid-fire guns will be mounted fore and aft, and the propeller blades are said to measure sixteen feet each.

The next war, if it comes, will be vastly more terrible than the last. Sherman's words will be infinitely more accurate within the next half-century, unless peace prevails. The world's statesmen should realize this fact when debating at the council tables of Europe.

## Fresno Again Victorious

After defeating the Sacramento Baseball Club on the previous Sunday, March 14, the undefeated nine of Fresno journeyed to Alameda, Sunday, March 21, and secured another victory by defeating the Alameda team by the score of 11to10. The game was hotly contested until the twelfth inning.

In the first inning, inexcusable errors among the Alameda players gave five runs to the raisin growers, but after that they could gain ground only slowly until the end. The Alameda hitters won a run nearly every inning and at the end of the ninth inning the score was tied, 9 to 9.

The wonderful pitcher for Alameda, Domoto, showed astonishing efficiency in pitching twelve long innings. The pitcher of the opposing team, Mr. Nitta—the star Taimai pitcher—weakened in the eight inning, and after that two pitchers were substituted.

## Basketball Games

On the evening of March 27, there will be two interesting basketball games played at the Community Court. The first will begin at 8:30 o'clock and the contending teams are the Buddhist cagers versus the M. E. Chrurch braves. The second game will be between the Hi-Y and the Gakusei-Kai.

## コドモのページ

一、宛名「コドモ」の作品募集欄係

### ギルロイ學園から雨の作文

第五學年 山根 芳枝

雨が降る
雨が降る
きのうも降つたが
今日も降る
これで野原も
青くなる
川の水も
見るまにふゑた

しつけたものは
できあがる
農夫は喜ぶ
この雨を

第四學年 片井 眞

一、雨が降る〜〜
うれしいな
うゐ物も出して
きれいだな
あれは私の
うゑたもの

二、雨が降る〜〜
うれしいな
よもの草木も
あを〜〜と
春の野山を
かざつてる

第三學年 西本ミトエ

雨、雨、たくさん
ふつてきな
下の小川に
水が出て
さかながたくさん
上るまで
今やんだら
いけません
少しふつたら
ごほうびに
ふうせんたくさん
かつて來て
あなたのお内に
つくやうに
みんなにがして
やりませう

### 日本のお友達の作文

#### 童謡 いやな雨

日比谷小學校四年 堀 公也

いくらふつても
まだやまず
買つたばかりの
ごむまりも
つまらぬ郎して
すわつてる

すゞめはのきに
しよんぼりと
ほくのお家で
しよんぼりと

#### 夕立のあと

埼玉縣入間郡兩古谷小學校 高一 増田 萬吉

夕立はやんだ
さくらの葉から
きれいなしづくが
ほたり〜〜と
おちてゐる。

▽入院隨時△
▼産婦人科 ▼内外科、小兒科 ▼耳鼻咽喉科 ▼眼科 皮膚科
日本病院
中村竹之助 田中政次
桑港パイン街一八三七 電話フヤルモア二〇〇四

●婦人科、産科 ●内外科、小兒科
桑港ウエブスター街一五四八 (ゲリー街ポスト街四)
藤森醫院
電話フヤルモア五六四

金門産院 公認 桑港ポスト街一六二四 電話フヤルモア一七六一
村山なみゑ

公認産婆 川口藤子
桑港プラシュ街一九〇七 電話フヤルモア一九〇四
川口産院

桑港ポスト街一八一四 電話ウオーナ三〇七六 内務省免許 加州公認助産婦
泉久子
泉産院

桑港ポスト街一五二六 公認産婆 上田ハル子 電話ゲヤスト五〇六八
上田産院

公認 桑港プラシュ街一九五六 電話フヤルモア五八四〇 公認産婆 林イエ
林産院

ポスト街一六六 電話ウエスト八〇六 カイロプラクチック 治療 ドクター 中邑

新渡米

大合同一座來る
新派社會悲劇團
諸演藝美人揃

▽初日
喜劇感違ひ 一幕
女道樂 女優總出
浪花節 天下光聞
義太夫(野崎村) 櫻屋花子
喜劇嘘と嘘 全一幕
小早節 樂屋總出

▽時日 三月廿七、廿八日(兩日)
▽場所 ガーリツク座
エリス街にてフィルモア街近く

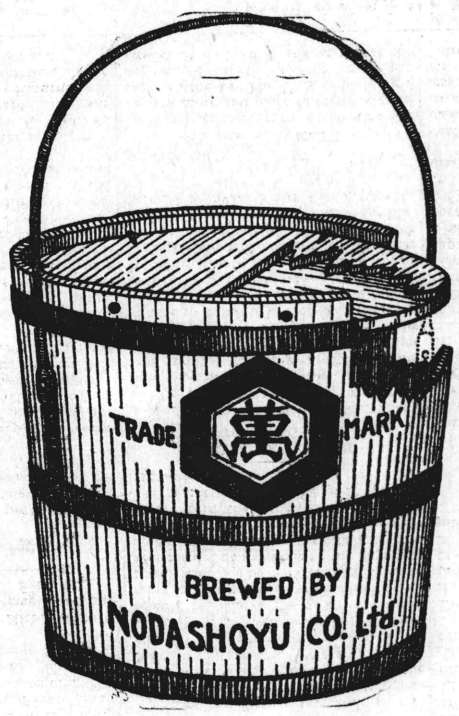
一、改良樽詰の醤油は日本より數回に亘り多數輸入したら實驗に依り破損のなき事を洩れのなき事が證明されました

二、改良樽は專賣特許の登錄濟であります

三、在來の竹輪樽は七百封度の壓力にて鏡板が破れます 改良樽は二千封度の壓力にも耐へます

四、改良樽の鏡は圖の如く二重蓋にて而かも蓋板二枚は縱横十文字に物理を應用して相互を仕立てあれば堅固にして且つ醤油の香りが室内に發散致しません

五、改良樽は堅固にして破損漏洩なく米國食料法の規定通り表記の桝目と中味醤油量は一致して居ります

六、改良樽詰の醤油は在來の竹輪樽の入量よりも平均して凡そ六パセント余分にあります

七、改良樽詰の醤油の空樽は便益なる日用具として用ひられます